

No.2019-5

日本株の投資部門別売買動向

海外投資家は4月第1週目に約6,200億円の買い越し

- 東証の投資部門別売買動向によると、2018年度に海外投資家は日本株を大幅に売り越し。
- 日本銀行による上場投資信託（ETF）の買いが、海外投資家の売越額を埋め合わせた。
- 4月第1週目は海外投資家が日本株を買い越し。企業決算で好業績が確認されればさらなる日本株買いも。

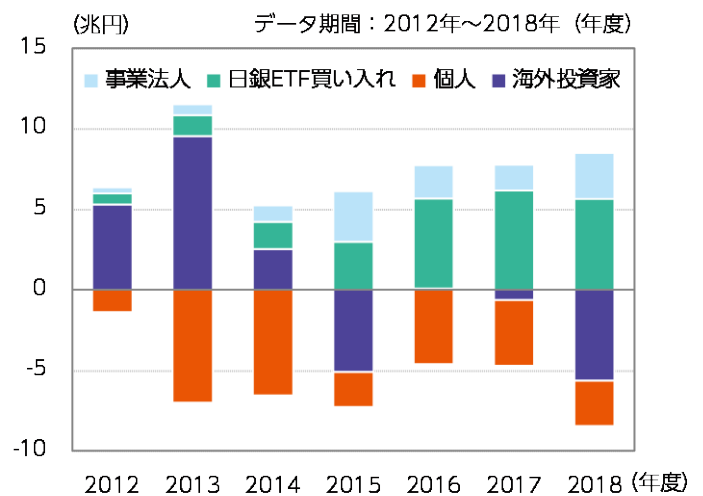
東京証券取引所が発表した投資部門別売買動向（2市場(東京・名古屋)(1部・2部) (新興市場を含む) 合計) によれば、2018年度は海外投資家が大幅に売り越していたことがわかりました。2年連続の売り越しとなっており（図表1）、売り越し額はおよそ5兆6,300億円、31年ぶりの高水準となりました。米中貿易摩擦に端を発した世界的な景気減速懸念の高まりにより、投資家が慎重姿勢を強めたことが要因であるとみられています。また、輸出中心の製造業が多いといった日本企業の特徴も、世界景気の影響を大きく受ける要因になったとも考えられます。

2018年度の海外投資家の売越額を埋め合わせたのが、日本銀行による上場投資信託（ETF）の買いです（図表2）。2018年度の日銀によるETF買いの総額は5兆6,500億円で、日銀がETFの買い入れを始めた2010年まで遡ると、2017年度の6兆1,700億円で次ぐ過去2番目の高水準となっています。

海外投資家は日本の株式市場の1日の売買代金のおよそ6割以上を占めており、彼らの動向は今後の日本株式市場を予想するうえで、重要であると言えます。海外投資家は、日本株を2019年2月第1週目から9週連続で総額約2.1兆円売り越しましたが、4月第1週目（4月1日

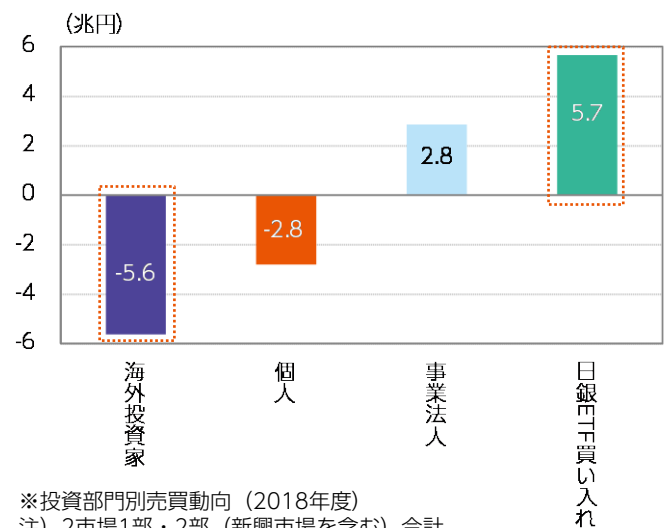
～4月5日）は6,228億円の買い越しとなりました。2001年以降の各年4月の海外投資家の売買を見ると、これまで全ての年で買い越しとなっており、今後主要企業の2019年3月期の決算発表が始まり、改めて日本企業の好業績が確認されることとなれば、海外投資家の日本株買いを後押しするとともに、株価の上昇が期待できそうです。

図表1：海外投資家は日本株を2年連続で売り越し



※投資部門別売買動向の推移
注) 2市場1部・2部 (新興市場を含む) 合計

図表2：海外投資家の売り越し額を日銀の買いが相殺



※投資部門別売買動向 (2018年度)
注) 2市場1部・2部 (新興市場を含む) 合計

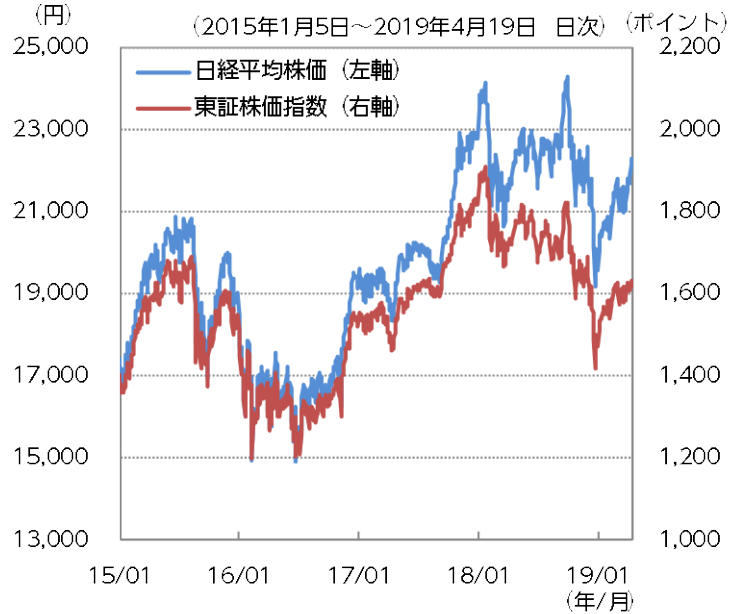
(2019年4月15日～4月19日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。良好な企業決算や中国の景気改善期待等を背景に、前週から引き続き17日（水）まで5日続伸しました。その後は、海外投資家を中心に利益確定目的の売りに押され小幅に下落したものの、週末は底堅い米個人消費や企業決算を背景に米国株式が買われた流れを受け、買いが優勢となり前日比で上昇しました（週末引け値：22,200.56円）。

■ 週間では、日経平均株価は1.51%の上昇、東証株価指数は0.72%の上昇でした。

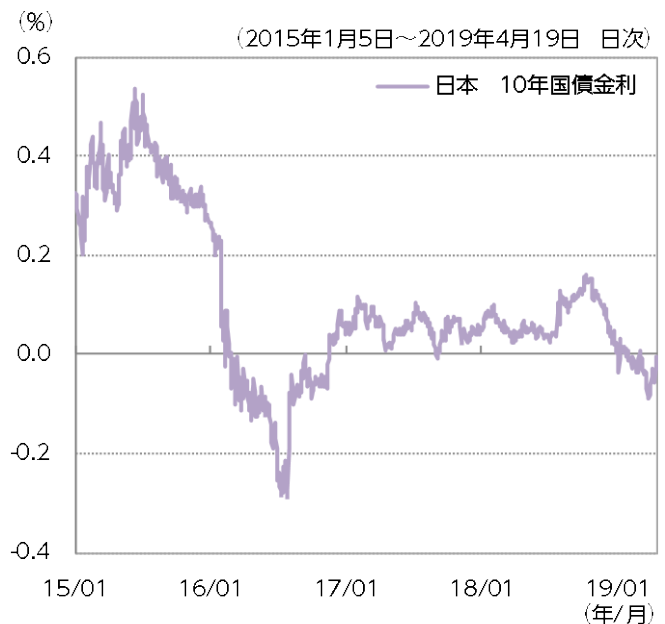


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。世界景気に対する過度な懸念が和らぎ株式が買われたことから、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました（週末引け値：-0.030%）。

■ 週間では、0.026%の上昇となりました。

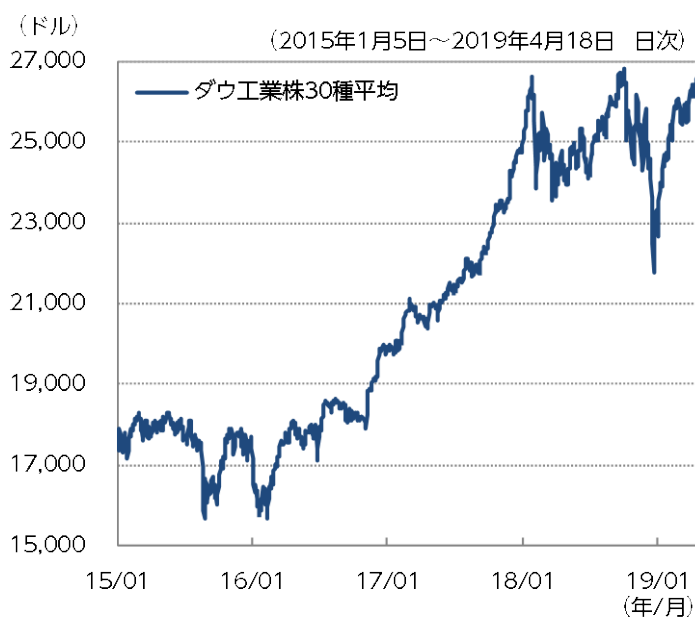


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。好調な企業決算と、医療制度改革によるヘルスケア業界への業績懸念等から、一進一退の展開となりました。週末は市場予想を上回る小売売上高を受け、前日比で上昇しました（週末引け値：26,559.54ドル）。
- 週間ではNYダウは0.56%の上昇となりました。

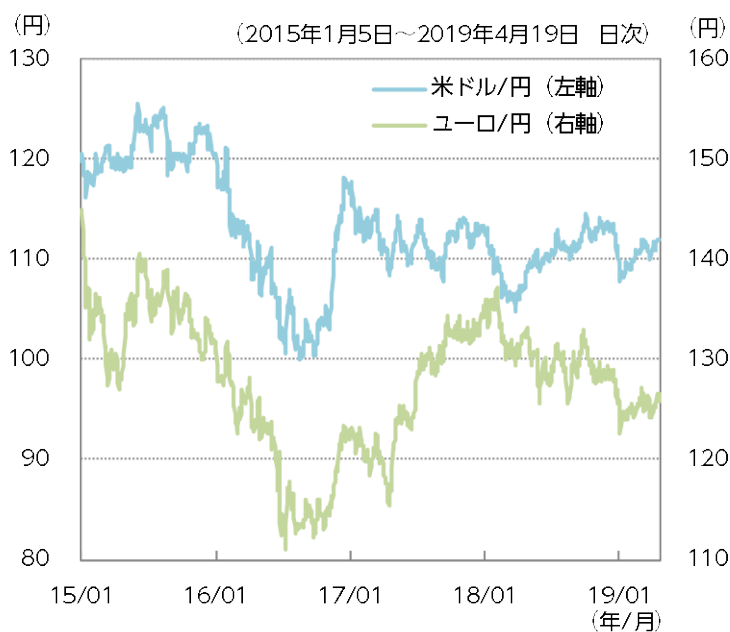


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。堅調な米経済指標や、世界経済への過度な景気減速懸念が和らいだことから円売り米ドル買いが優勢となる一方、持ち高調整による円買い米ドル売りに押されました（週末引け値：111円80銭～90銭）。
- 週間では米ドル/円は0.09%の円高、ユーロ/円は0.59%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>